

長岡京市歴史講演会

長岡宮の造営計画と 瓦の供給

長岡宮における瓦の供給は、旧都の瓦を主体的に再利用し、新たに生産した瓦を補完的に加える体制でした。このあり方は、古代の都城造営のなかでも独自の様相を示しています。ここでは、瓦の供給のあり方と造営過程を検討し、条坊制や宮内地割などの特徴も重視した上で、長岡宮の造営計画やその特質について考えてみます。ここで導き出した所見は、長岡京と平安京を相対的に検討する上でも有効な視点になると見込まれます。また桓武朝の造都事業の全体像の中で長岡京を位置づける上でも重要と思われる。

■講師 大山崎町教育委員会生涯学習課 **古閑 正浩氏**

■日時 平成30年7月8日(日) 13時30分～15時30分

■会場 長岡京市立産業文化会館 1階 大会議室

申し込み不要 先着100名・資料代300円(当日受付にて)



谷田瓦窯群周辺(七つ池、東より)



谷田瓦窯群で生産された軒瓦
(公財)長岡京市埋蔵文化財センター編
「埋もれていた歴史」ページ59、図9より

地域創生に取り組んでいます！



京都府地域力再生活動

●主催 NPO法人 長岡京市ふるさとガイドの会
●共催 長岡京市教育委員会
●後援 長岡京市観光協会
●問合せ NPO法人 長岡京市ふるさとガイドの会
長岡京市教育委員会 生涯学習課



高橋 ☎ 955-8810
☎ 954-3557